

立命館人間科学研究

第33号

目 次

編集委員長から

編集委員長就任にあたって 松原 洋子 (1)

■原著論文

時効論・損害論への法心理学的アプローチ
—民事損害賠償請求における被害者支援のために— 松本 克美 (3)

アメリカ初期裁判心理学におけるミュンスターバーグとウイグモアの論争
—大衆への訴えかけと専門家との関係から— 篠木 涼 (15)

1987年精神衛生法改正の政策過程
—利益集団の動き— 桐原 尚之 (29)

地域に立ち向かう母親の共同的身份アイデンティティ
—恵那「障害児者」運動の源としての『かやのみ』より— 篠原真紀子 (45)

■実践と論考

外国にルーツを持つ児童生徒の学習権保障とデジタル教科書政策 小澤 亘 (63)

執筆者紹介 (75)

『立命館人間科学研究』について (77)
